

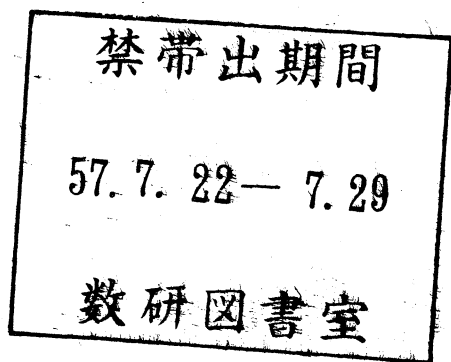
2R-5/00

95

47

数理解析研究所講究録 457

Mathematical Topics in Biology



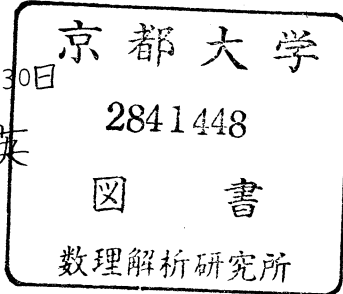
京都大学数理解析研究所

1982年4月

研究集会報告集

57年 1月 28日 - 1月 30日

研究代表者 寺本 英



目 次

- 1. Mathematical Topics in Biology1

京大 理 寺本 英

- 2. Shade-Effect のある植物個体群の Size分布2

京大 理 高田 壯則

〃 〃 巖佐 庸

- 3. 個体群の世代の重りの程度と安定性
との関係について21

佐賀医大 数学 山村 則男

- 4. Predator-Prey ボルテラモデルにおける
進化の特徴44

千葉大 工 平田 廣則

- 5. 捕食・被捕食者系の遷移54

立命館大 理工 中島 久男

〃 〃 坂部 清人

11. 種の多様性と個体数の分布
 ——成長する系の一般的 size 分布——168
- 京大 理 寺本 英
 “ “ 重定 南奈子
 “ “ 川崎 宏吉
12. 多種競争系の構造と安定性182
- 京大 理 重定 南奈子
 “ “ 寺本 英
 同志社大 理工研 川崎 宏吉
13. 引き込み現象による集団的律動の発生203
- 京大 基研 蔵本 由紀

MATHEMATICAL TOPICS IN BIOLOGY

この講演録は1982年1月28日—30日に行われた表題のシンポジウムでの講演をまとめたものである。1978年9月に、数理解析研究所の協力を得て“*International Symposium on Mathematical Topics in Biology*”を用いてから、毎年同じ研究テーマでの研究集会MTBが用いられてきた。単に学問的討論を通しての研究交流だけでなく、この新しい学問領域の日本での進展に大きな役割を果たしてきた。

最近アメリカでは *Society for Mathematical Biology* が発足し、その中に国際協力委員会ができて活動をほじめようとしている。今後情報の交換を行う予定であり、入手した情報はMTBの出席者名簿などによりなるべく広く周知する。

日本でも学会ではなく、数理生物学懇談会といった組織を作った方がよいかもしいと考えますが、御意見をお寄せ下さい。

寺 本 英

1982年4月